

海軍公報 (部内限) 第二千四十三號

昭和十年五月一日(水)
海軍大臣官房

○ 還牒

官房第一八三七號

昭和十年五月一日

海軍次官

各鎮守府司令長官
各要港部司令官
海軍艦政本部長

海軍諸例
則登載

審議委員ノ事務援助ノ件申進

艦船造修規則及兵器造修試験検査規則ノ改正ニ依リ艦船ノ公試ニ對シ公試成績及艦ノ性能審議ノ爲審議委員ヲ任命セラルルコトト相成候處委員ハ其ノ員數少ク且短時日ノ間ニ成績ノ調査及審議ヲ要スルニ就テハ之ガ任務ノ回滑ナル遂行ヲ期セシムル爲委員ノ要求ニ應シ當該艦船、海軍工廠又ハ私立製造所ノ職員ヲシテ調査及事務上必要ナル援助ヲ爲サシムル様御取計相成度

教育第四〇號ノ二

昭和十年四月二十五日

海軍省教育局

關係各廳御中

無線電信遠距離受信檢定成績調査資料

ノ件通知

昭和十年四月第十二回無線電信遠距離受信檢定信文送
信要目左記ノ通

記

信文	佐世保海軍無線電信所	送信
番號	送信日時	速度(一分間)
一	四月十八日 午後一時四分	八〇
二	同 二時八分	八一
三	同 三時十一分	八一
四	同 四時十五分	八四
		信文修正

海軍公報(部内限) 第二千四十三號

昭和十年五月一日

二三三

五同	一時十九分	八一	
六同	一時二十三分	八〇	
七同	一時二十七分	八二	本文七十八字目不正
八同	一時三十一分	八二	
九同	一時三十四分	八〇	
一〇同	一時三十七分	八〇	
一一同	一時四十分	八二	
一二同	一時四十三分	八一	
一三同	一時四十六分	八一	
一四同	一時五十分	八〇	
一五同	一時五十三分	八二	本文八字目「ソ」ヲ「ン」ト送信ス
一六同	一時五十五分	八二	
備考	一、天候晴 二、送信状態良好		

○ 辭 令

海軍少佐 山崎 規矩夫
 特務艦佐多今次行動中臨時同艦分隊長被仰付
 海軍大尉 森川 秀也
 特務艦早柄今次行動中臨時同艦運用長被仰付(以上請
 海軍省)

○ 雜 款

○郵便物發送先
 第十四潜水隊(呂二七)宛
 五月 三 日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
 同 十五 日迄ニ 同 新 舞 鶴
 其ノ後ハ 吳
 第二十七潜水隊(呂六六、呂六五、呂六七)宛
 五月 十 日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保
 同 二十 日迄ニ 同 旅 世 順
 其ノ後ハ 佐 世 保
 特務艦早柄宛
 五月 五 日迄ニ到達見込ノモノハ 横 須 賀
 其ノ後ハ 横 須 賀局留置

海軍公報 (部内限) 第二千四十四號

海軍大臣官房

昭和十年五月二日(木)

○令 達

官房機密第一〇八二號

昭和十年海軍大演習部隊編制中左記艦隊戰隊司令部附
タル特務士官以下ハ各其ノ下欄ノ鎮守府ヨリ之ヲ補充
スベシ

昭和十年五月二日

海軍大臣

記

艦(戰)隊司令部	補充鎮守府	記	事
第四艦隊	佐世保	第二戰隊司令部ハ之ヲ 設置セズ	
第五戰隊	佐世保		
第七戰隊	吳		
第九戰隊	吳		

○辭 令

官房第一六七七號ノ二
昭和十年度歳出科目中左ノ通追加ス
昭和十年五月二日
歳出臨時部
海軍大臣

款	項	目	解	疏
(滿洲事件費)	(滿洲事件費)	一時賜金		會計課日 電信略號
		ケサ		

海軍大臣 山本 弘毅 (艦 木)

同 男爵 鮫島 具重 (最 上)

同 河瀬 四郎 (艦 木)

同 相馬 六郎 (同)

海軍中佐 坂垣 行一 (吳 艦)

海軍公報 (部内限) 第二千四十四號 昭和十年五月二日

(各通)		同	清水 巖(艦本)
同	澤田 虎夫(軍令)	同	野元 爲輝(艦本)
同	大杉 守一(吳鎮)	海軍少佐	中島 民部(三隈)
同	粟屋 眞(航本)	同	小原 尙(同)
海軍少佐	杉浦 矩郎(軍務)	海軍機關大佐	足立 吉平(艦本)
同	江島 久雄(最上)	同	三戸 由彦(同)
同	木村 行藏(同)	海軍機關中佐	島本 万太郎(同)
海軍機關大佐	足立 吉平(艦本)	同	渡邊 瑞彦(軍務)
同	三戸 由彦(同)	同	指山 辰雄(三隈)
海軍機關中佐	星野 武雄(吳艦)	海軍機關少佐	石塚 正俊(艦本)
同	島本 万太郎(艦本)	海軍造船大佐	村上 義次(同)
同	島田 藤治郎(最上)	海軍造船中佐	榊 方楢三郎(艦本監)
海軍機關少佐	田邊 保里(吳鎮)	海軍造船少佐	八戸 義雄(同)
海軍造船大佐	村上 義次(艦本)	海軍技師	根岸 秀夫(同)
軍艦最上審議委員ヲ命ス		軍艦三隈審議委員ヲ命ス(以上諸海軍艦政本部)	
○ 雜 款			
○吳警備戰隊(天龍)行動豫定			
地名	着	發	
吳	五月十五日	五月十五日	
新	五月十六日	五月十六日	
下	五月十六日	五月十八日	

宇部	宇野	神戶	飾磨	韮品	吳宇
二十八日	二十一日	二十四日	二十九日	三十一日	六月三日
二十日	二十四日	二十九日	三十一日	六月三日	

廣島	須賀	釜賀	五月十三日	五月十七日	十六日
吳警備戰隊司令部、軍艦天龍宛	五月十四日迄ニ到達見込ノモノハ	五月十七日迄ニ同	五月二十三日迄ニ同	五月二十八日迄ニ同	六月一日迄ニ同
山口縣下松	同	同	同	同	同
吳	同	同	同	同	同
山縣	同	同	同	同	同
宇部	同	同	同	同	同
神戶	同	同	同	同	同
廣島縣	同	同	同	同	同
吳	同	同	同	同	同

海軍公報(部内限)第二千四百四號 昭和十年五月二日

二二七

第五驅逐隊宛

五月二十二日迄ニ到達見込ノモノハ 高知縣宿毛

其ノ後ハ 横須賀

驅逐艦松風、春風宛

五月 八 日迄ニ到達見込ノモノハ 高知縣宿毛

同 十一 日迄ニ 同 鹿兒島縣志布志

其ノ後ハ 第五驅逐隊ニ同シ

驅逐艦朝風、旗風宛

五月 五 日迄ニ到達見込ノモノハ

鹿兒島縣志布志

其ノ後ハ 第五驅逐隊ニ同シ

○書類發送先ニ關スル件依頼

當隊、天霧、朝霧昭和十年度艦上簡閱點呼ノ爲若手、青森兩縣及北海道方面ニ分離行動中當隊司令宛書類ニシテ各艦ニ配布ヲ要スト認メラルルモノハ寫ヲ各艦宛御送付ノコトニ御取計ヲ得度

(第八驅逐隊)

海軍公報 (部内限) 第二千四十五號

昭和十年五月三日(金)

海軍大臣官房

○ 辭 令

通信事務官 藤田 葛治

第一海軍軍用郵便所長ヲ免ス(請海軍省)

○ 雜 款

○戰技委員及視察見學者送迎便ニ關スル件通知
宿毛灣在泊中戰技委員及視察見學者送迎ノ爲左記文
便アリ

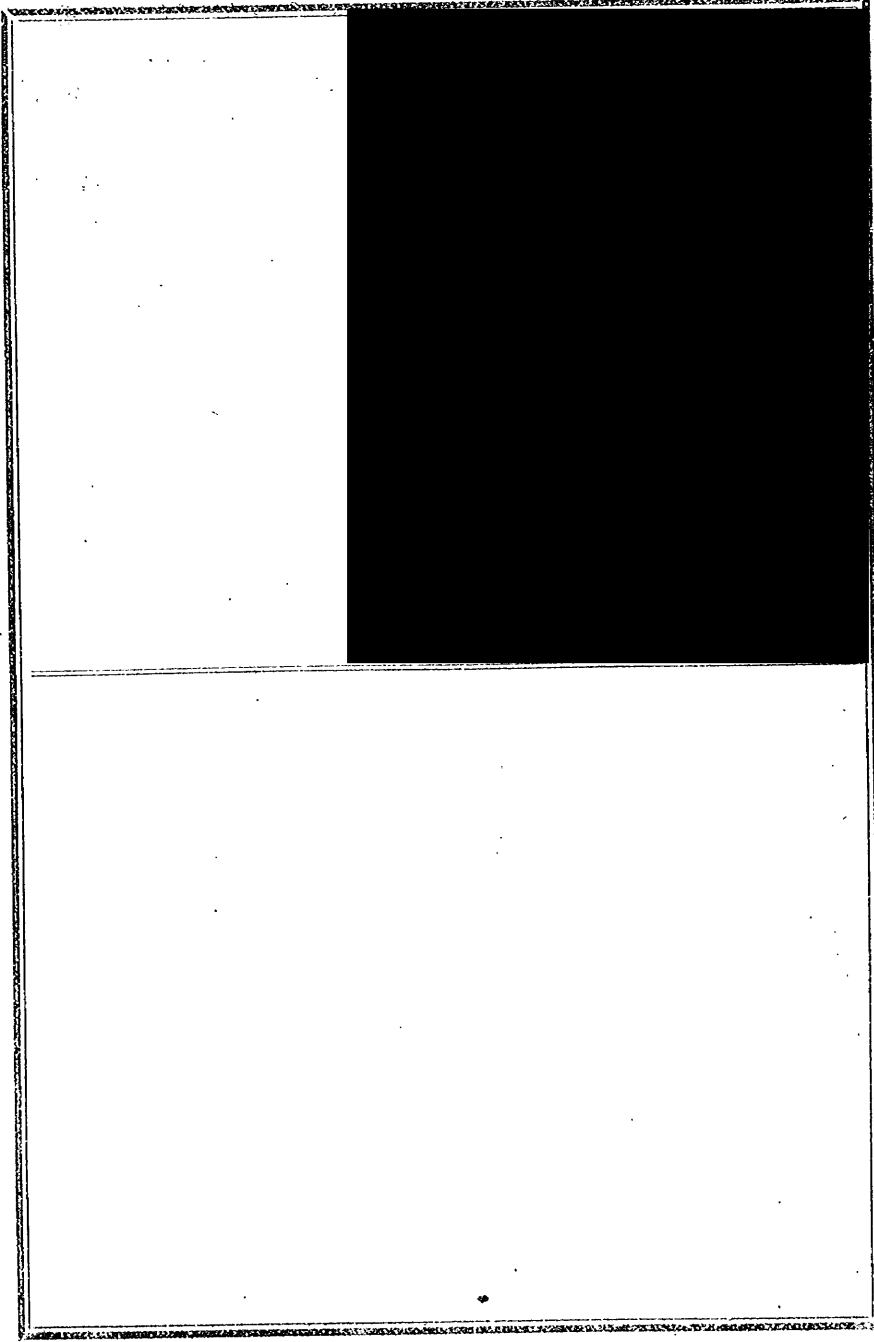
交通便 番號 (豫備)	艦名	月 日		發		着	
		時刻	時刻	場 所	場 所	時刻	場 所
三	間 宮	五—九三〇〇	五—一〇〇〇	宿 毛	德 山	佐伯	宿 毛
四	鶴 見	五—一〇〇〇	五—一二〇〇	宿 毛	德 山	佐伯	宿 毛
		五—一二〇〇	五—一四〇〇	德 山	宿 毛	佐伯	宿 毛

一、戰技進捗狀況ニ依リ交通便ヲ變更スルコトアルベシ
 二、天候ノ狀況ニ依リ使用艦艇ヲ變更スルコトアリ又豫定ノ外佐伯宿毛間ニ汽動艇便ヲ往復セシムルコトアルベシ
 三、發着場所左ノ通
 宿毛灣山城錨地附近、徳山ハ燃料廠棧橋、佐伯灣ハ佐伯航空隊前錨地(陸上下ノ交通ハ航空隊棧橋)トス

○ 懲 罰
懲罰書渡書

海軍公報(部内限) 第二千四十五號 昭和十年五月三日

二二九



海軍公報(部内限) 第二千四十五號 昭和十年五月三日

二三〇

(限 内 部)

1100

海軍公報 (部内限) 第二千四十六號

海軍大臣官房

昭和十年五月六日(月)

○通牒

教育第四〇號ノ一二

昭和十年五月六日

海軍省 教育局

關係各廳御中

無線電信遠距離受信檢定成績調査資料

ノ件通知

昭和十年四月第十二回無線電信遠距離受信檢定信文送

信要目左記ノ通

記

信文 呂號第六十五潜水艦 送信

番號	送信日 時	速度(分間)	信文修正
一	四月二十五日 午後一時十四分	八五	本文九十五字目「コ」ヲ「シ」ト送信
二	同 一時二十分	八八	
三	同 一時二十四分	八六	本文九十三字目「メ」ヲ「ミ」ト送信
四	同 一時二十七分	八六	
五	同 一時三十分	八六	本文八十七字目「ヲ」ヲ「ミ」ト送信
六	同 一時三十三分	八六	
七	同 一時三十六分	八六	
八	同 一時三十八分	八五	
九	同 一時四十分	八五	
一〇	同 一時四十五分	八五	
一一	同 一時四十九分	八四	
一二	同 一時四十七分	八五	
一三	同 一時五十分	八五	
一四	同 一時五十八分	八三	

海軍公報(部内限)第二千四十六號 昭和十年五月六日

二三一

海軍公報(部内限) 第二千四十六號 昭和十年五月六日

	考	一五	一六
	備	同	同
	一、天	二時一分	二時四分
	候晴	八四	八五
空一二其他異狀ナシ			

(限 内 部)

1102

海軍公報 (部内限) 第二千四十七號

海軍大臣官房

昭和十年五月七日(火)

○ 週 牒

教育第四〇號ノ二三

昭和十年五月七日

海軍省教育局

關係各應御中

無線電信遠距離受信檢定成績調査資料
ノ件通知

昭和十年五月第十三回無線電信遠距離受信檢定信文送
信要目左記通

記

信文 東京海軍無線電信所 送信

番號 送信日時 速度(分間) 信文修正

一 五月二日 午後一時三十分 八五

二 同 一時六分 八四

三 同 一時九分 八四

四 同 一時十二分 八四

五 同 一時十五分 八四

六 同 一時十八分 八四

七 同 一時二十一分 八四

八 同 一時二十四分 八四

九 同 一時二十七分 八四

一〇 同 一時三十分 八四

一一 同 一時三十四分 八四

一二 同 一時三十七分 八五

一三 同 一時四十分 八四

一四 同 一時四十三分 八四

本文九語十字目、W
ト送信

海軍公報(部内限)第二千四十七號 昭和十年五月七日

海軍公報(海内版) 第二千四十七號 昭和十一年五月七日

一五	同	二時四十六分	八四
一六	同	一時五十分	八四
備	一、天候晴		
考	一、送信状態良好		

○ 辭令

海軍中佐 田部 明

特務艦洲埼今次行動中臨時同艦乗組被仰付(留海軍省)

○ 雜款

○ 軍艦常磐行動豫定

地名	着	發
佐世保		五月十九日
三池		五月十九日
島原		二十一日
鹿兒島		二十三日
佐世保		二十九日

○ 郵便物發送先
 佐世保防備戰隊司令部、軍艦常磐宛
 五月十八日迄ニ到達見込ノモノハ
 同 二十日迄ニ同
 同 二十一日迄ニ同
 同 二十七日迄ニ同
 其ノ後ハ
 佐世保 鹿兒島 三池
 世保 島原 池保

海軍公報 (部内限) 第二千四十八號

昭和十年五月八日 (水)
海軍大臣官房

○令 達

甲三 二九二粒 同 同

官房第一九四九號

大正十五年官房第三六四六號艦營需品機關長主管消耗品水面計硝子板ノ寸法中「ウキンドー」型ノ項ヲ左ノ通改ム

昭和十年五月八日

海軍大臣

(参照) 艦營需品燃料取扱例規一七八頁水面計硝子板寸

法制定ノ件

官房機密第一二號ノ二〇

昭和十年五月八日

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿

兵器簿ノ件通達

各艦船部隊兵器簿砲術長主管之部中左記ノ通改正ス

記

区分	類 別	改 正 名 稱	舊 名 稱	使 用 信 管	記 事
四十五日徑安式 二十 種 砲	徹 甲 彈	徹 甲 彈 (改) (炸藥共)	徹 甲 彈 (炸藥共)		
	通 常 彈	通 常 彈 (改) (炸藥共)	通 常 彈 (炸藥共)		

海軍公報 (部内限) 第二千四十八號 昭和十年五月八日

二三五

海軍公報(部内限)第二千四十八號 昭和十年五月八日

二三六

改正

五十口径四二式 五種 砲	三號通常彈 (改) (炸藥共)	三號通常彈 (炸藥共)
四十口径四二式 五種 砲	二號通常彈 (改) (炸藥共)	二號通常彈 (炸藥共)
四十口径安式四二式 五種 砲	通常彈 (改) (炸藥共)	通常彈 (炸藥共)
五十口径三年式 四種 砲	被帽通常彈 (改) (炸藥共)	被帽通常彈 (炸藥共)

一三式一號信管

九年内令兵第十九號
ニ依ル改正ノモノ

○雜款

○第二十七潜水隊行動豫定
地名 着

佐世保 五月十四日
旅順 五月十四日
佐世保 二十四日

發
五月十一日
二十一日

海軍公報(部内限)第二千四十九號

昭和十年五月九日(木) 海軍大臣官房

○令 達

官房第一九四七號

昭和九年恩賜研學資金受賞者左ノ通定ム

昭和十年五月八日

海軍大臣

單座機ニヨル急降下爆撃ノ教育訓練ニ就テ 海軍大尉 源 田 實

軍艦龍驤電機裝置ノ効力發揮法 海軍機關少佐 福 田 一 郎

長江流域ニ於ケル傳染病竝ニ地方病

附 昭和八年軍艦保津ニ流行セル細菌性赤痢ニ就テ 海軍軍醫大尉 一 瀬 春 駒

電力事情 海軍主計少佐 川 村 久 三 郎

附 左ノ對策ハ優秀ナル對策ト認ム

水中爆發ノ實驗式並ニ之ガ圖表化ニ關スル研究 海軍少佐 田 村 久 三

松花江ノ水路及航泊 海軍大尉 小 倉 正 身
九二式射擊機ノ實戰的價値並ニ之ガ全幅利用法 海軍大尉 鷹 尾 卓 海
下士官兵教育指導ノ要義ニ就テ 海軍特務大尉 福 有 長 太 郎

軍艦金剛機部員ノ教育訓練法ニ關スル研究 海軍機關少佐 田 中 千 春
下士官兵教育資料トシテ健康ノ保持ト共ノ増進ニ就テ論述ヲ集メ 海軍軍醫大尉 松 村 吉 之

○辭 令

上海へ出張ヲ命ス(揚海軍省) 海軍警査 上 野 壽 美 雄

(各通)
海軍大佐 山 本 弘 毅 (艦 本)
海軍中佐 遠 藤 昌 (嚴 島)
同 西 尾 不 二 彦 (橫 艦)
同 野 元 爲 輝 (艦 本)
海軍少佐 末 澤 慶 政 (橫 鎮)
海軍大尉 竹 内 猶 勝 (嚴 島)

海軍公報(部内限)第二千四十九號 昭和十年五月九日

海軍公報(部内限) 第二千四十九號 昭和十年五月九日

二三八

海軍機關少佐 沼田 章(同)
軍艦嚴島審議委員ヲ命ス(請海軍艦政本部)

○ 雜 款

○ 驅逐艦野風行動豫定

地名	着	發
大湊	五月十九日	五月十二日
厚岸	五月十九日	六月三日
室蘭	六月四日	六月七日
大湊	六月八日	六月八日

○ 郵便物發送先

驅逐艦野風宛	到達見込ノモトハ	大湊
五月十一日迄	同	厚岸
六月二日迄	同	大湊
同日迄	同	室蘭
其ノ後ハ		大湊

海軍公報(部内限)號外

昭和十年五月九日(木)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一一八號ノ五

昭和九年度新造雜役船ノ船種、公稱番號及所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十年五月九日

海 軍 大 臣

船 種	公稱番號	所 屬	定 數 別	製 造 所	契約納所入	竣工納期日入	備 考
内 火 艇 (十三米)	第 六 六 號	吳海軍工廠	臨時附屬	橫濱ヨット工作所	吳海軍工廠	十年五月三十日	魚雷道 備考
同 (同)	第 九 七 號	海軍水雷學校	臨時附屬	橫濱ヨット工作所	橫須賀	同年七月三十一日	同
同 (十二米)	第 九 八 號	舞鶴海軍航空隊 (假稱)	定數補充	三原造船鐵工所	海軍工廠	同年十月三十一日	開設ノ 上
同 (十一米)	第 九 九 號	海軍航海學校	定數補充	三原造船鐵工所	海軍工廠	同年六月三十日	
橋 船 (長二〇米巾六米)	第 三 〇 〇 號	橫須賀海軍工廠 (造船部)	臨時附屬	橫濱船渠會社	佐世保	同年五月三十一日	
同	第 三 〇 一 號	佐世保海軍航空隊	臨時附屬	宇品造船所	佐世保 海軍工廠	同年十月三十一日	

海軍公報(部内限)號外

同 (同)	同 (同)	同 (同)	同 (同)	同 (同)	同 (同)	運 貨 船 (シヤラン型 二百噸級)	同 (同)	同 (同)	同 (同)	同 (同)	同 (同)
第 五 〇 號	第 六 九 號	第 六 八 號	第 六 七 號	第 六 六 號	第 三 八 七 號	第 三 八 六 號	第 三 八 五 號	第 三 八 四 號	第 三 八 三 號	第 三 八 二 號	第 三 八 一 號
佐世保海軍航空隊	佐伯海軍航空隊	吳海軍航空隊		橫須賀海軍工廠 (造船部)		吳海軍工廠	舞鶴要港部工作部	吳海軍港務部	橫須賀防備隊	佐世保海軍港務部	
公稱第六三九號 代船(臨時附屬)	定數補充			臨時附屬		臨時附屬		公稱第七二二號 代船(臨時附屬)	臨時附屬		
澤田川造船所				石川島造船所		函館船渠會社		橫濱船渠會社		宇品造船所	
海軍工廠				橫須賀		吳海軍工廠		橫須賀海軍工廠		佐世保海軍工廠	
三十一年十一月				三十一年十一月		三十一年十一月		三十一年十一月		三十一年十一月	

海軍公報 (部内限) 第二千五十號

昭和十年五月十日 (金)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一九九八號

中華民國ニ在リテ勤務スル雇員備人ノ給料ハ雇員備人
給與規則第一條ノ規定ニ拘ラズ當分ノ内左ノ金額以內
トス

昭和十年五月十日

海 軍 大 臣

筆 生

月給百七十五圓

倉庫手

日給四圓五十錢

附 則

本令ハ昭和十年五月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス
昭和四年官房第三六五一號(上海軍需品供給所ニ勤務
スル雇員備人ノ給料ニ關スル件)ハ本令施行ノ日ヨリ
之ヲ廢止ス

○

○ 通 牒

經物第三四八號

昭和十年五月八日

海 軍 省 經 理 局

關係各廳御中

國有財産増減事由用語ニ關スル件通知

彙ニ配付致候國有財産増減事由用語記載例ニ左記ノ通
追加相成候

記 (昭和十年四月十日管國第五三三號ヲ以テ管轄
管財局總務部長ヨリ海軍省經理局長ヘ通知)

國有財産増減事由用語記載例

甲 公用財産

土地ノ部

一頁増欄寄附ノ下摘要欄寄附受納ノ場合ノ下ニ「土
地ト共ニ樹木ノ寄附ヲ受ケタルトキ及樹木ノミニ寄附
ヲ受ケタルトキヲ含ム」ヲ追加ス

二頁増及減欄誤謬訂正ノ下摘要欄ニ「樹木ノ訂正ヲナ
ス場合ヲモ含ム」ヲ追加ス

三頁増及減欄行政區劃變更ニ因リ何(縣、郡、市)ヨ

海軍公報(部内限) 第二千五十號

昭和十年五月十日

二三九

リ整理替(減欄ハへ整理替)トアルヲ「行政區劃變更ニ因リ(何府、縣、郡、市)ヨリ整理替(減欄ハへ整理替)」ト改ム

建物ノ部

七頁増欄新築ノ摘要欄末尾ノ工作物ニ付テモ亦同シヲ「削除」ス

九頁減欄營林財産へ種別替ノ上増欄ニ「營林財産ヨリ種別替」ヲ追加ス

工作物ノ部

九頁増欄新設ノ摘要欄ニ「營繕管財局ニ於テ工事ヲ施行シタルモノヲ引受タルトキハ新設(大藏省ヨリ引受分)ト記載シ各省ニ於テ工事ヲ施行シタルモノト營繕管財局ニ於テ工事ヲ施行シタルモノト同時に記載スルトキハ新設(大藏省ヨリ引受ノ分ヲ含ム)ト記載スルコト」ヲ追加ス

十頁増欄(何口座)ヨリ整理替ノ次ニ「營林財産ヨリ種別替」其ノ下減欄ニ「營林財産へ種別替」ヲ追加ス

器具機械ノ部

十一頁増欄増設ノ次ニ「新造」其ノ下摘要欄ニ「車輛ヲ新造シタル場合」ヲ追加ス

十二頁増及減欄改設ノ次ニ「改造」其ノ下摘要欄ニ「車

輛ヲ改造シタル場合」ヲ追加ス

營林財産

建物ノ部

十九頁減欄取毀ノ下摘要欄ニ「目的廢止ノ協議ヲナシタルモノニ限ル」ヲ追加ス

工作物ノ部

二十頁増欄増設ノ次ニ「新規登載」ヲ追加シ同頁減欄誤謬訂正ノ次ニ「取毀」其ノ下摘要欄ニ「目的廢止ノ協議ヲナシタルモノニ限ル」ヲ追加ス

二十一頁増欄(何事業區)ヨリ整理替ノ次ニ「公用財産ヨリ種別替」其ノ下減欄ニ「公用財産へ種別替」ヲ追加ス

船舶ノ部

二十一頁増欄購入ノ次ニ「屬具取付」其ノ下減欄ニ「屬具除斥」ヲ追加ス

雜種財産

土地ノ部

二十三頁増欄租人曠缺ヲ「國庫ニ歸屬」ニ改メ摘要欄ニ「民法第七十二條、第五十九條等ニ因リ國庫ニ歸屬シタル場合」ヲ追加ス

二十四頁減欄公用財産へ種別替ノ次ニ「出資」ヲ追

加ス

立木竹ノ部

二十六頁減欄行政區劃ノ變更ニ因リ(何縣、郡、市)ヨリ編入ノ次ニ「出資」ヲ追加ス

建物ノ部

二十七頁增欄端數合算ノ次ニ「國庫ニ歸屬」其ノ摘要欄ニ「民法第七十二條、第一千五十九條等ニ因リ國庫ニ歸屬シタル場合」ヲ追加ス

工物ノ部

二十八頁減欄(何省)ヘ引繼ノ前ニ「出資」ヲ追加ス
二十九頁減欄讓與ノ次ニ「取毀」ヲ追加ス
二十九頁減欄交換ノ次ニ「出資」ヲ追加ス

船舶ノ部

三十頁增欄營林財產ヨリ種別替ノ下減欄(空欄)ノ左傍ニ「出資」ヲ追加ス
三十頁區分欄船舶ノ末尾ニ「鑛業權」其ノ下減欄ニ「出資」ヲ追加ス

株式及持分ノ部

三十一頁增欄相續人曠缺ヲ「削除」シ「國庫ニ歸屬」其ノ摘要欄ニ「民法第七十二條、第一千五十九條等ニ因リ國庫ニ歸屬シタル場合」ヲ追加ス

二十四頁土地ノ部二十六頁立木竹ノ部二十八頁建物ノ部二十九頁工物ノ部ニ於テ增欄行政區劃ノ變更ニ因リ(何縣、郡、市)ヨリ編入トアルヲ「行政區劃變更ニ因リ(何府縣、郡、市)ヨリ編入」ト改メ減欄行政區劃ノ變更ニ因リ(何縣、郡、市)ヘ編入ヲ「行政區劃變更ニ因リ(何府、縣、郡、市)ヘ編入」ト改ム

(參照) 昭和八年五月經物第五四二號及昭和九年七月

經物第一二二號

○ 雜 款

○特務艦洲崎行動豫定

地名	着	發
ホノルル	六月十四日	六月十八日
ロスアンゼルス	二十九日	七月三日
ホノルル	七月十三日	十七日
横須賀	八月五日	

海軍公報 (部内限) 第二千五十一號

昭和十年五月十一日(主)
海軍大臣官房

○令 達

官房第一六七七號ノ三
昭和十年度歳出科目中左ノ通追加ス
昭和十年五月十一日

海軍大臣
歳出臨時部

款	項	目	節	解	疎	電
(震災復舊費)	(官衙學校其他建造物修費)	(建築費)	東京方面建築費			ウチ
						會計科日電信略號

○辭 令

海軍技術會議員海軍造船大佐 子爵 徳川 武定
海軍艦政本部技術會議員ヲ命ス(語海軍省)

○雜 款

○第二十七驅逐隊(董、菱、葦)行動豫定

地名	着	發
鎮海(董、菱)		五月十三日
群山		五月十四日
仁南		五月十六日
鎮南		五月十九日
新義州		五月二十一日
仁川(菱)		五月二十四日
釜山(董)		五月二十五日
釜山(葦)		五月二十五日
鎮海(菱)		五月二十八日
鎮海(董)		五月二十九日

○郵便物發送先
第二航空戰隊司令部、軍艦赤城、驅逐艦夕暮宛

五月十六日迄ニ到達見込ノモノハ

第二艦隊司令部ニ同ジ

同 十九日迄ニ 同

鹿兒島縣志布志

同 二十二日迄ニ 同

高知縣宿毛

第九驅逐隊(右明)宛

五月十九日迄ニ到達見込ノモノハ

鹿兒島縣志布志

同其ノ後ハ

第二航空戰隊司令部ニ同ジ

第二十七驅逐隊(董、菱、葦)宛

五月十二日迄ニ到達見込ノモノハ

鎮 海

同 十四日迄ニ 同

群 山

同 十七日迄ニ 同

仁 川

同 十九日迄ニ 同

鎮 南

同 二十二日迄ニ 同

新 州

同 二十七日迄ニ 同

釜 山

其ノ後ハ

鎮 海

○富高飛行場ニ關スル件照會
宮崎縣富高飛行場ハ爾今當隊ニ於テ管理スルコトト相
成候ニ就テハ之ヲ使用セラルル如キ場合ハ豫メ當隊ニ
協議セラルル様御取計相成度

(佐伯海軍航空隊)

海軍公報(部内限) 第二千五十二號

昭和十年五月十三日(月)

海軍大臣官房

○令 達

官房第一六七七號ノ四

昭和十年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十年五月十三日

海軍大臣 蒞 出 臨 時 部

款	項	目	節	細 節	會計科目 電信略號	電文電信 略號
(艦艇製造費)	(補助艦艇製造費)	(駆逐艦)	(造船費)	第五十九號 驅逐艦(初春)	二ノ	Kaniku
			(造船費)	第六十號 驅逐艦(子日)	二ク	Kaniku
			(造兵費)	第五十九號 驅逐艦(初春)	三ク	Kasaniku

海軍公報(部内限) 第二千五十二號 昭和十年五月十三日

二四五

海軍公報 (部内限) 第二千五十三號

海軍大臣官房

昭和十年五月十五日(水)

○ 辭令

海軍中佐 脇坂 乘平 (勝力)
 同 板垣 行一 (吳艦)
 (各通) 海軍大尉 濱崎 隆 (勝力)
 海軍機關少佐 石塚 正俊 (艦木)
 同 檜垣 郁美 (勝力)
 軍艦勝力審議委員ヲ命ス (海軍艦政本部)

○ 雜款

○給與通牒ニ關スル件照會
 海軍潜水學校練習潜水艦タル左記各潜水隊(艦)ニ對
 スル給與ハ本艦ニ於テ取扱居候條右乘員ニ對スル給與
 通牒ハ本艦主計長宛發送相成度爲念

- 第十三潜水隊 (伊二一、伊二二)
 第十四 同 (呂二七、呂二八)
 第十七 同 (伊五一、伊五二)

第二十四 同 (呂六三、呂六四、呂六八)
 伊號第六十六潜水艦
 (軍艦大鯨主計科)

○正誤 (済)
 本月十三日令達欄官房第一六七七號ノ四中「Kamina」
 ハ「Kaminio」ノ誤

海軍公報 (部内限) 第二千五十三號 昭和十年五月十五日

二四七

(限 内 部)

1117

海軍公報 (部内限) 第二千五十四號

海軍大臣官房

昭和十年五月十六日(木)

○通牒

軍需機密燃第六〇號ノ二

昭和三年軍需機密燃四二ニ
ニテキヤ

昭和十年四月一日

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長
舞鶴要港部軍需部長
各要港部主計長

「ベンゾール」供給ニ關スル件通牒

當分ノ間一號「ベンゾール」ノ請求アリタル場合在庫
品ナキトキハ二號「ベンゾール」ヲ供給シ差支無之候

○雜款

○郵便物發送先

第十四潜水隊(呂二八、呂二七)宛

五月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

同 二十八日迄ニ 同

大 阪(呂二八)
神 戶(呂二七)

○正誤

昨十五日雜款欄下段二行目「伊號第六十六潜水艦」ハ
「伊號第六十八潜水艦」ノ誤

六月一日迄ニ 同
其ノ後ハ

飾 磨
吳

海軍公報(部内限) 第二千五十四號

昭和十年五月十六日

二四九

(限 内 部)

1118

海軍公報(部内限) 第二千五十五號

海軍大臣官房

昭和十年五月十七日(金)

○令達

官房第一六七七號ノ五

昭和十年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十年五月十七日

海軍大臣

歳出臨時部

款	項	目	節	疏	會計科目 電信略號
(水 備 費)	(防 備 隊)	大湊要港部 設備費	建築費		レヤ

○通牒

軍需機密兵第九八二號

昭和十年五月十四日

海軍省軍需局長

各軍需部長殿

兵器保管轉換ノ件通牒

水雷長主管ノ十五種双眼望遠鏡 固定托架付 全部ヲ昭和十年五月一日ヨリ航海長主管ニ保管轉換ノ上左記ノ通品名更訂整理方取計相成度

記

一、十五種双眼望遠鏡 固定托架付 附屬品共

○辭令

海軍警査 福田 喜作

青島へ出張ヲ命ス(海軍省)

海軍公報(部内限) 第二千五十五號 昭和十年五月十七日

(限 内 部)

1119

海軍公報(部内限)附録

海軍大臣官房

昭和十年五月十七日(金)

昭和十年四月中ニ於ケル艦船恩給年加算始終期左ノ通

(海軍省人事務局)

艦船名	加算	始終期	發地名	行先	任務	加算率	恩給	叙勳	記	事
龍田	年	四月九日	高雄	英領北ボルネオ、 英領東印、 英領南洋群島	外國鎮戍	一月半	同上			
球磨		四月二日	大連	青島	同	同上				
宇治	一〇	四月一七	佐世保							
佐多		四月一三	佐世保							
膠州	一〇	三月四	横須賀	南洋	遠洋航海	三分ノ一				

海軍公報(部内限)附録

朝 顔		蓼		蓬		蓮		藤 萩 蔦 薄	夕島沙灘 風風風風
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
二	二	一	一	一	一	八	三	一	六
七	三	九	五	九	四	高	馬	四	馬
同	馬	同	馬	同	馬	雄	公	同	公
油		厦		福		香		芝	
頭		門		州		港		罌	
外國鎮戌		外國鎮戌		外國鎮戌		外國鎮戌		外國鎮戌	
一月半		一月半		一月半		一月半		一月半	
同上		同上		同上		同上		同上	

海軍公報 (部内限) 附録

海軍公報(部内限) 第二千五十六號

海軍大臣官房

昭和十年五月十八日(土)

○通牒

官房第二一七〇號

昭和十年五月十八日

海軍省 副官

關係各廳長殿

滿洲及朝鮮地圖祕密解除ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通參謀本部ヨリ通牒有之候條可然御取計相成度

記

滿洲及朝鮮地圖祕密解除ノ件通牒

昭和十年二月廿三日

參謀本部總務部長 山田 乙三

海軍次官 長谷川 清殿

昭和八年三月調製參謀本部發行機(祕)密地圖一覽圖ニ示ス滿洲及朝鮮地圖中別紙(解祕地圖一覽表其一、其二)ノ如ク祕密ヲ解除セラレシニ付左記ノ通り取計

相成度依命通牒ス

追テ別紙解祕地圖一覽表共一滿洲十萬分一圖中斜線ヲ施セル部分ハ解祕地區ニシテ近ク祕密地區(國境外)ヲ削除シ陸地測量部ヨリ一般ニ發行スル豫定ナリ從テ現用地圖ハ祕密地區(國境外)ヲ含ムヲ以テ從前ノ通り祕密圖トシテ取扱フモノト承知セラレ度爲念申添フ

左記

- 一、現在配布ヲ受ケ保管シアルモノハ祕印並其番號ヲ抹殺シ「解祕」ヲ標示ス
- 二、滿洲國領域内及滿洲國領域ヲ含ム地圖ニ限リ左右兩側圖郭ノ外側縦ヨリ切取ルモノトス
尙圖郭外ニ備考其他日本年號及日本官廳名等ノ印刷シアルモノハ該部ヲ切取ルモノトス
追テ解祕地圖ハ陸軍測量部ヨリ逐次一般ニ拂下發賣セシメラル
- 三、前項ニヨリ處理セル地形圖ニシテ方眼ヲ有スルモ

海軍公報(部内限) 第二千五十六號

昭和十年五月十八日

二五三

海軍公報(部内限) 第二千五十六號 昭和十年五月十八日

二五四

ノハ軍部以外ニ使用スルヲ得ス
(別圖ニ葉添)

教育第四〇號ノ一四

昭和十年五月十七日

海軍省教育局

關係各廳御中

無線電信遠距離受信檢定成績調査資料

ノ件通知

昭和十年五月第十四回無線電信遠距離受信檢定信文送
信要目左記通

記

番號	送信日時	速度(一分間)	信文修正	信文
一	五月九日 午後一時三十分	九五	本文九十字目不正	軍艦扶桑送信
二	同 一時六分	九七		
三	同 一時十三分	九六		
四	同 一時十六分	一〇〇		
考	一、送信狀態 一、夕ナ三 取消			
備	一、天候晴			
六	同 一時二十分	九五		
七	同 一時二十三分	九七		
八	同 一時二十七分	九五		
九	同 一時三十一分	九七		
一〇	同 一時三十四分	九五		
一一	同 一時三十七分	九六		
一二	同 一時四十一分	九六		
一三	同 一時四十五分	九五		
一四	同 一時五十分	九五		
一五	同 一時五十三分	九六		
一六	同 一時五十六分	九五		
一七	同 一時五十九分	九五		

海人第四號ノ九五

昭和十年五月十八日

海軍省人事局長

増俸拔擢名簿調製官殿

士官増俸拔擢名簿調製ニ關スル件申進

本人大演習臨時編制部隊ニ勤務スル士官ニシテ海軍武官増俸規則第十三條第一項ニ該當スルモノノ増俸拔擢名簿ハ同條第二項ノ規定ニ依リ固有ノ所屬ニ於テ之ヲ調製具申スルモノト御了知相成度爲念

○雜款

○郵便物發送先

第一戰隊司令部宛

自今

軍艦伊勢氣付

○郵便物發送先變更 (三月十四日)

聯合艦隊各艦宛

自今

各所屬軍港

○送信所開設

六會送信所ハ一昨十六日ヨリ開所セリ

場所 神奈川縣高座郡六會村大字龜井野字西谷

位置 電話

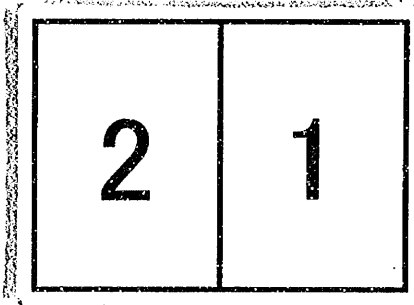
(藤澤ノ北々西約五軒)
北緯 三十五度二十三分
東經百三十九度二十八分
横鎮交換 四二〇番

(横須賀海軍無線電信所長)

海軍公報(部内限)第二千五十六號 昭和十年五月十八日

三五五

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版以上のため
文書等名	工作長主管木工部
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

工作長主管金工之部

(昭和十年四月二日公報(部内限)別表)

艦船部隊名	品名	類別番號	備品第一類		記
			個	錐尖甲	
第十三號型掃海艇、敷設艇、江之島、黑神、黑島、片島、戸島、測天、葦崎、黒崎、加徳、圓島、似島、鷺崎、雜役船初加勢、山良川、第一回天、第一横須賀、第四横須賀、第六横須賀、第七横須賀、第三吳、第四吳、第五吳、第二佐世保、第四佐世保、第三舞鶴、第四八七、第四八八、第五一八、第六一七、第六二三、第六三八、第六四二、第六三九、第七六一、第八四一、横須賀、吳、佐世保各海軍港務部所屬船、海軍砲術學校、海軍水雷學校、海軍通信學校、海軍潜水學校、海軍工機學校、海軍兵學校、海軍機關學校各所屬船			六		本數量ハ本主管定數トス 但シ從來ヨリ本主管定數ヲ有スル 向ハ本數量ヲ合算シタルモノヲ以 テ本主管定數トス尙合計欄ハ合算 スルモノトス

- 兵器ニ關スル事務ハ海軍航空本部ニ於テ行フ
- (イ) 機銃及機銃彈藥包ノ計畫、試驗、機銃及機銃彈藥包以外ノ航空機用射擊兵器ノ計畫、造修
 - (ロ) 爆彈用炸藥ノ計畫、試驗、爆彈用炸藥以外ノ爆撃兵器ノ計畫、造修
 - (ハ) 火管、信管、射出機用裝藥包ノ計畫、試驗、右以外ノ火工兵器(射出機用裝藥ヲ含ム)ノ計畫、造修
 - (ニ) 化学兵器ノ計畫、試驗及容器ノ造修
 - (ホ) 航空機用光学兵器ノ計畫、造修
 - (ヘ) 航空機裝備ノ電氣兵器(無線以外ノ電源ヲ含ム)飛行ニ直接關係アル航空隊用竝ニ艦船用電氣兵器(着陸着水照明燈、着艦照明燈、電氣制動機等)ノ計畫、造修
 - (ト) 魚雷及其ノ附屬諸兵器以外ノ水雷兵器(雷擊照準器、落射管制器、雷擊鑑査寫真器)ノ計畫、造修
 - (チ) 爆彈庫關係兵器ノ計畫、造修
 - (二) 海軍艦政本部ニ於テ所掌スル航空兵器ニ對スル豫算ハ海軍航空本部ヨリ分割ス
 - (三) 海軍艦政本部ニ於テ製造スル航空兵器ノ出師準備計畫及生産配當ハ海軍艦政本部ニ於テ行フ

○ 雜 款

○ 第九驅逐隊(有明)行動豫定

地名 着

四月 一日 發

横須賀

四月 四 日

其ノ後ハ第二航空戰隊司令部ニ同ジ

○ 郵便物發送先

第九驅逐隊(有明)宛

自今

第二航空戰隊司令部ニ同ジ

海軍公報(部内限) 第二千二十三號 昭和十年四月二日

(限 内 部) 1131

海軍公報(部内限)號外

昭和十年四月二日(火)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第五四〇號ノ二

臨時海軍購買名簿中左ノ通改正ス

昭和十年四月一日

海 軍 大 臣

部外祕臨時購買名簿之部

一一 防潜網之部第四項中「株式會社村上鐵工所」ノ行ヲ左ノ通改ム

株式會社田中機械製作所

○ 大阪市港區尻無川北通三丁目二

製鎖部工場

五 大阪市浪速區木津川町三丁目一

海軍公報(部内限)號外

海軍公報 (部内限) 第二千二十四號

昭和十年四月四日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第八三三號

大正十五年官房機密第八九二號年末度末賞與内規中

左ノ通改正ス

昭和十年四月四日

海軍大臣

第三條第五項中「職工」ヲ「職工又ハ傭夫」ニ改ム

○通 牒

軍務三機密第四〇號

昭和十年三月三十日

海軍省軍務局長

海軍省教育局長

各艦隊
各鎮守府
各要港部
駐滿海軍部
參謀長殿

後進強速力回轉數ニ關スル件通牒

機關指揮裝置制式中ニ後進強速力制定相成候處右ニ對
スル回轉數ハ前進原速力ニ二節ヲ加ハタル場合ノ回轉
數ノ七割ニ相當スルモノニ一定セラレ候

追テ操艦教範ニハ適當ノ時機ニ追加改訂相成豫定ニ
有之候

教育第四〇號ノ八

昭和十年四月二日

海軍省教育局

關係各廳御中

無線電信遠距離受信檢定成績調査資料

ノ件通知

昭和十年三月第八回無線電信遠距離受信檢定信文送信
要目左記ノ通

記

海軍公報(部内限) 第二千二十四號 昭和十年四月四日

一八〇

信文		伊號第六十八潜水艦 送信	
番號	送信日時	速度(一分間)	信文修正
一	三月二十八日 午後一時一分	九七	
二	同 一時四分	九四	
三	同 一時七分	九八	
四	同 一時十分	九〇	
五	同 一時十三分	九五	
六	同 一時十六分	九三	
七	同 一時二十分	九三	
八	同 一時二十四分	九五	
九	同 一時二十八分	九一	
一〇	同 一時三十六分	九三	
一一	同 一時四十分	九三	
一二	同 一時四十四分	九一	
一三	同 一時四十四分	九一	

考	備	一七	一六	一五	一四
	一、天候雨	同 二時二分	同 一時五十六分	同 一時五十二分	同 一時四十八分
		九五	九二	九二	九五

○ 辭 令

軍令部部長海軍少佐 直井 俊夫
第三部勤務ヲ命ス(海軍令部)

海軍公報

(部内限) 第二千二十五號

昭和十年四月五日(金)

海軍大臣官房

○令達

官房第一三三八號

昭和十年度滿洲事件費ヲ以テ經費ヲ支辨スベキ各部左ノ通指定シ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ適用ス
經費整理區分ハ海軍省經理局長ヲシテ通牒セシム

昭和十年四月一日

海軍大臣

記

一 常時派遣艦船

安宅、宇治、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱

海、二見、浦風、嵯峨、球磨、龍田

第十五驅逐隊(萩、薄、藤、葛)

第三驅逐隊(汐風、島風、灘風、夕風)

二 臨時派遣艦船

磐手、對馬、栗、梅、淀、間宮

三 前二號以外ノ關係各應

第十六驅逐隊(朝顔、芙蓉、刈萱)

第二十八驅逐隊(蓼、蓮、蓬)

官房第一三三九號

昭和十年度航空隊設備費(土木建築ニ關スル經費ヲ除ク)ヲ以テ特ニ經費ヲ支辨スベキ各應左ノ通指定シ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ適用ス
經費整理區分ハ海軍省經理局長ヲシテ通牒セシム

昭和十年四月一日

海軍大臣

一 海軍練習航空隊

霞ヶ浦海軍航空隊

横須賀海軍航空隊

二 前號以外ノ關係各應

○通牒

經豫第六號ノ四七

昭和十年四月一日

海軍省經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

官房第一三三八號ニ依ル昭和十年度滿洲事件費整理區
分別紙ノ通定メラレ候

(別紙五頁添)

經豫第六號ノ四八

昭和十年四月一日

海軍省經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

官房第一三三九號ニ依ル昭和十年度航空隊設備費(土木建築ニ關スル經費ヲ除ク)整理區分別紙ノ通定メラレ候

(別紙五頁添)

○ 雜款

○ 郵便物發送先

佐世保警備戰隊司令部、軍艦北上宛

四月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保

同 十四日迄ニ
其ノ後ハ 同

熊本縣三角
佐世保

第二十三驅逐隊宛

自四月十九日迄ニ到達見込ノモノハ
其ノ後ハ

長崎
佐世保

驅逐艦菊月、三日宛

自四月十九日迄ニ
其ノ後ハ

長崎
佐世保

驅逐艦夕月、望月宛

自五月十六日迄ニ
其ノ後ハ

長崎
佐世保

(昭和十年四月五日公報(部内限)別紙)

昭和十年度航空隊設備費(土木建築ニ關スル經費ヲ除ク、以下同ジ)整理區分

- 一 特ニ航空隊設備費支辨ノコトニ指定セラレタル各應經費中次號ニ掲グルモノヲ航空隊設備費支辨トス
- 二 航空隊設備費支辨ノ經費ハ左ノ區分ニ依ル

イ 奏任俸給、判任俸給、兵俸給、航空加俸、特別加俸

(一) 海軍練習航空隊タル霞ケ浦及横須須海軍航空隊ニ勤務ノ左記人員ニ對スル俸給、航空加俸並ニ特別加俸

航空特務中少尉	三	一	一	三	六	一	計
主計科尉官	一	一	一	一	一	一	
軍醫科尉官	一	一	一	一	一	一	
機關科尉官	二	一	一	三	一	一	
兵科尉官	四	二	二	六	一	一	
機關少佐、機關大尉	二	一	一	三	一	一	
少佐、大尉	五	一	一	六	一	一	
大中佐	一	一	一	一	一	一	
	霞ケ浦 海軍航空隊	横須 海軍航空隊					

主計兵曹	看護兵曹	機關兵曹	整備兵曹	航空兵曹	兵曹	主計兵曹長	看護兵曹長	機關兵曹長	整備兵曹長	航空兵曹長	兵曹長	兵曹長	整備科特務士官	整備特務中少尉
七	四	六	一一三	六七	六	二	一	二	四	四	一	三	一	一
二	三	一	三〇	二〇	四	一	一	一	二	二	一	一	一	一
九	七	七	一四三	八七	一〇	二	一	三	六	六	二	三	二	二

水	航	整	機	看	主	合	士	特	特	准	准	下	兵
兵	空	備	關	護	計	計	官	務	務	士	士	士	兵
一七	二五五	一四三	二九	八	一三	七〇五	一六	四	三	一四	二〇三	四六五	
一	八五	七五	一	五	一〇	二四九	五	三	一	六	六〇	一七六	
一七	三四〇	二一八	三〇	一三	二三	九五四	二一	六	三	二〇	二六三	六四一	

前記人員ノ航空隊設備費支辨期間ハ前勤務應退應ノ翌日ヨリ霞ケ浦又ハ横須賀海軍航空隊退隊ノ日迄トス

(二)

海軍練習航空隊タル霞ケ浦及横須賀海軍航空隊ニ入隊ノ左記練習生ノ俸給、航空加俸並ニ特別加俸

(イ) 霞ケ浦海軍航空隊

第二十七期、第二十八期、第二十九期、第三十期、第三十一期及第三十三期操縦練習生並ニ第三十期、第三十一期、第三十二期、第三十三期、第三十四期及第三十五期普通科整備術練習生

(ロ) 横須賀海軍航空隊

第二十九期、第三十期、第三十一期及第三十二期偵察練習生

前記練習生ノ航空隊設備費支辨期間ハ整備術練習生ニ在リテハ前應退應ノ翌日ヨリ、操縦偵察練習生ニ在リテハ採用確定シ前應退應ノ手續ヲ爲シタル翌日ヨリ霞ケ浦及横須賀海軍航空隊退隊ノ日迄トス

ロ 雑給及雑費

(一) 雑給及雑費

(イ) 俸給航空隊設備費支辨ノモノノ赴任旅費、轉勤轉乘旅費及出張旅費(霞ケ浦及横須賀海軍航空隊ヨリノ赴任旅費、轉勤轉乘旅費ヲ含ミ同上ヘノ赴任旅費及轉勤轉乘旅費、操縦、偵察練習生採用豫定者ノ出張旅費ヲ含マズ)

- (二) 特命ニ依ル分
 - (イ) 衣糧費
 - (ロ) 俸給航空隊設備費支辨ノモノノ食料
特命ニ依ル分
- (三) 特命ニ依ル演習費、艦營費及教育諸費
 - ハ 兵器費、雜船費、需品費、港用品費、醫療品費
- (一) 特命ニ依ル分

昭和十年度滿洲事件費整理區分

一 滿洲事件費支辨ノコトニ指定セラレタル各部ニ於テ滿洲國並ニ中華民國方面艦船等派遣及其ノ他ニ關シ要スル經費中次號ニ掲グルモノハ滿洲事件費支辨トシ其ノ他ハ經常費支辨トス

二 滿洲事件費支辨ノ經費ハ左ノ區分ニ依ル

イ 俸 給

一 特命ニ依ル軍人、軍屬ノ俸給、駐在員加俸、在勤加俸、航海加俸並ニ特別加俸

二 海軍豫備員タル士官ノ俸給、航海加俸並ニ航空加俸

三 服役延期者タル下士官及兵ノ俸給、在勤加俸、航海加俸、航空加俸並ニ特別加俸

四 旅順要港部、駐滿海軍部及臨時海軍防備隊在勤者ニ要スル在勤加俸

五 海軍軍用郵便所通信吏員ノ俸給並ニ航海加俸

六 第三艦隊司令部附、第五水雷戰隊司令部附、上海海軍特別陸戰隊員及臨時派遣艦船乘員ノ航海加俸

ロ 應 費

一 特命ニ依ル通信費、備品費、圖書及印刷費、紙墨筆文具、消耗品並ニ運搬費

ハ 雜給及雜費

一 第三艦隊司令部、第十一戰隊司令部、第五水雷戰隊司令部、上海海軍特別陸戰隊、旅順要港部、駐滿海軍部及臨時海軍防備隊ヘノ赴任旅費、轉勤轉乘旅費並ニ同上ヨリノ赴任旅費、轉勤轉乘旅費

(昭和十年四月五日公報(部内限)別紙)

二 第三艦隊及旅順要港部所屬各艦船へノ赴任旅費、轉勤轉乘旅費並ニ同上各艦船ヨリノ赴任旅費、轉勤轉乘旅費

三 海軍豫備員タル士官ノ旅費並ニ武裝手當

四 特命ニ依ル赴任旅費、轉勤轉乘旅費並ニ出張旅費

五 海軍軍用郵便所通信吏員ニ要スル旅費

六 服役延期者タル下士官及兵ノ旅費、勞働手當並ニ外宿手當

七 臨時使用スル囑託員、雇員及傭人ノ報酬金、給料及特ニ要スル給與等

八 服役延期者ニ要スル武裝手當

九 特ニ要スル宿舍手當並ニ雜費

一〇 昭和十年勅令第六十四號ニ依ル特別手當

ニ 衣糧費

一 特命ニ依ル糧食費、被服費並ニ雜費

二 昭和十年勅令第六十四號ニ依ル食料

三 海軍豫備員タル士官ノ食料

四 服役延期者タル下士官及兵ノ食料並ニ被服費

五 海軍軍用郵便所通信吏員ノ食料

ホ 造船造兵及修理費

一 特命ニ依ル艦船及兵器ノ造修費、保管運搬費並ニ雜費
 患者費

一 上海海軍特別陸戰隊及臨時派遣艦船ニ於テ要スル療用品費、藥劑費、傳染病豫防及消毒諸費、依託患者費並ニ雜費

二 服役延期者タル下士官及兵ニ要スル療用品費、藥劑費、病室諸費、傳染病豫防及消毒諸費、依託患者費並ニ雜費

三 旅順要港部、駐滿海軍部及臨時海軍防備隊ニ於テ要スル療用品費、藥劑費、病室諸費、傳染病豫防及消毒諸費並ニ雜費

四 臨時使用スル傭人ノ給料並ニ雜費

五 特命ニ依ル療用品費、藥劑費、病室諸費、傳染病豫防及消毒諸費、依託患者費並ニ雜費

ト 艦營費

一 特命ニ依ル艦營需品、燃料並ニ保管運搬費

二 第三艦隊司令部、第五水雷戰隊司令部及臨時派遣艦船ニ要スル雜給及雜費

三 上海海軍特別陸戰隊、旅順要港部、駐滿海軍部及臨時海軍防備隊ニ要スル雜給及雜費

四 臨時使用スル囑託員、雇員及傭人ノ報酬金、給料並ニ航海増給

五 特ニ要スル雜給及雜費

チ 水路費

一 特命ニ依ル内國旅費並ニ外國旅費

二 特ニ要スル備給及報酬金

リ 教育諸費

一 特命ニ依ル分

ヌ 扶助金

一 服役延期者タル下士官及兵ノ家族ニ給スル分

ル 接待費

一 特命ニ依ル分

ヲ 機密費

一 特ニ要スル分

ワ 船舶費

一 臨時海軍防備隊ニ於テ特ニ傭人ノ船舶借料

カ 營繕費

一 特命ニ依ル建築費、作場費並ニ初度調辨費

ヨ 軍港要港費

一 旅順要港部ニ於テ要スル港用品費、備給等

二 特命ニ依ル港用品費、備給等

タ 一時賜金

一 昭和二年勅令第五十七號ニ依ル一時賜金及昭和十年海軍省告示第六號ニ依ル臨時特別賜金

三 臨時派遣艦船ノ滿洲事件費支辨期間ハ就役命令受領ノ日ヨリ任務終了本邦港灣ニ歸着ノ日迄トス